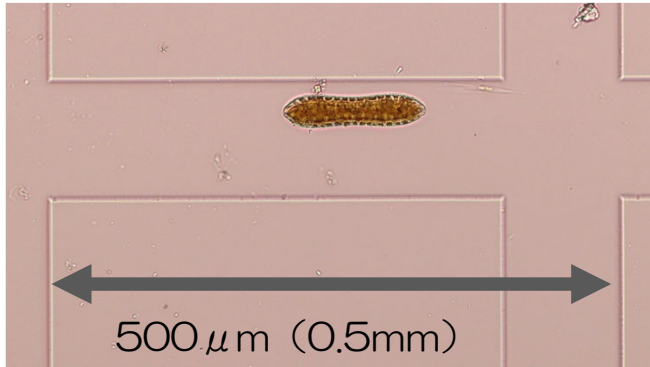
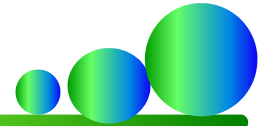


## “落花生の殻” のようなハダナミケイソウ



動画をご覧ください

ハダナミケイソウは、側面から見たときに、殻面（肌）のうねり（波）があることが名前の由来です。動画で、横向きになる様子を確認できます。

茶色く見える部分は葉緑体で、殻面に沿って存在しています。

霞ヶ浦で観察されることは、ほとんどないようですが、新川の河川水ではしばしば観察されます。

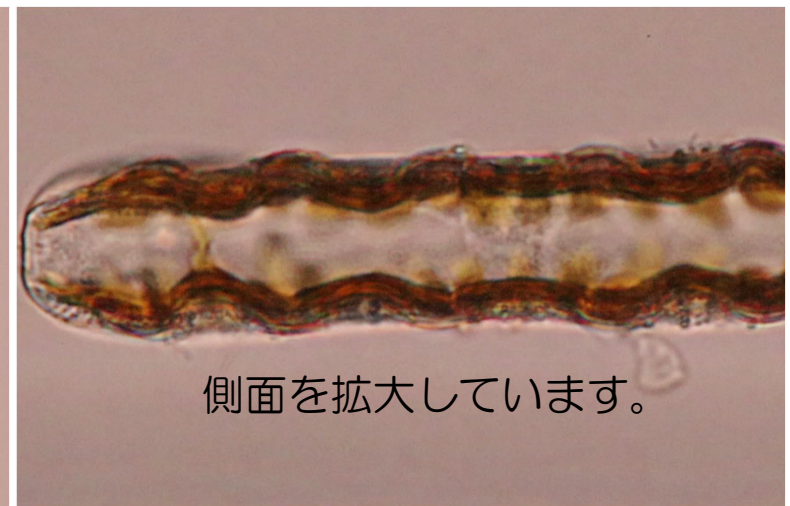
※写真や動画は、2022年1月21日に新川の河川水で観察されたものです。動画では、ハダナミケイソウが動き、下の3枚の写真が同じ個体であることが確認できます。



上から見ると落花生の殻のようです。



左と同じ個体を側面から見ています。



側面を拡大しています。